

令和2年度第2回独立行政法人家畜改良センター契約監視委員会
議事概要

1 日時

令和2年12月21日（月） 13:15～14:20

2 場所

家畜改良センター 本所 第1会議室

3 出席者

(1) 委員

吉川 幸雄 委員長、熊谷 光明 委員

(2) 監事

佐藤 成 監事

(3) 家畜改良センター

理事(総務担当) 上口 直紀

管財課

課長 我妻 良則、課長補佐 打座 隆文、

契約第1係長 安齊 敏子、契約第2係長 須藤 寛史、

コンプライアンス推進室(事務局) 室長 矢倉 弘幸

〃

監査専門役 星 智久

4 議事

- (1) 令和2年度第1回契約監視委員会における留意事項への対応状況について
- (2) 令和2年度上半期の入札・契約状況について
[令和2年4月～令和2年9月契約分]
- (3) 随意契約の状況について
[令和2年4月～令和2年9月契約分]
- (4) 一般競争入札において一者応札・応募となった契約の状況とその改善方策等について
[令和2年4月～令和2年9月契約分]
- (5) 公共工事の入札・契約状況等について（全2件）

5 審議結果及び主な意見

- (1) 令和2年度第1回契約監視委員会における留意事項への対応状況について
 - ・ おが粉の購入については、業者が供給可能とする一回あたりの調達量及び配送費や配送可能エリア等、供給サイドの事情を考慮しつつ引き続き経済的合理性を有する調達を行う必要がある。
 - ・ 地域との共生の観点から、可能であれば供給能力を見極めた上で地元

の業者からの調達を優先させる発想も必要だと思う。

(2) 一般競争入札において一者応札・応募となった契約の状況とその改善方策等について

- ・ 試験研究においてデータの連続性を確保するため、そこに使用する飼料について銘柄指定を行っているが、購入にあたり業者間の競争が発生しない場合は、無理に一般競争入札を行わず、随意契約を行うことにより入札手続に要する労力や時間を削減して事務コストを下げる、という考え方も必要である。

(3) 抽出した公共工事の入札・契約状況等について

- ・ 鶏への給餌作業の合理化、作業員の負担軽減のため自動給餌機を鶏舎に設置するにあたり、求める仕様を満たす市販品が無かったため、専門業者からの提案を受けて鶏の給餌機に豚用の計量機を組み合わせた特注品を導入することになったが、これは既製品に改良を加えてユーザーが求める製品を提供する「開発型」の案件で、専用の製品や特殊な技術を有する特定の業者しか対応できないことから、この様な場合は一般競争入札に拘る必要は無く、随意契約で良かったと考える。

以上